

“結愛” ~ゆい~

『利用者の声』（訪問リハビリテーション室 網干 隼人）

今回は訪問リハビリと通所リハビリを利用されている、73歳女性のM様にリハビリに対する感想をいただきましたのでご紹介させていただきます。

「私が、この通所にお世話になってから1年以上が経ちました。筋肉が弱くなってしま病のため、退院当初は歩行器で20m歩くのがやっとで、ほぼ車椅子の生活でした。第1希望は自分の足でトイレに行くこと、第2に簡単な家事をこなせることで、とても高いハードルと思っていました。通所へは週3回、リハビリだけでなく、おしゃべりやカラオケを楽しみに行っていました。時には手のリハビリのため、新聞のチラシをリサイクルしてお菓子箱を二千枚折ることもしました。半年ほどで車椅子は返還し、徐々に手押し車から杖へと移行して、家の中では杖は殆ど要らず、周囲が呆れるほど進歩しました。そのため現在は、週1回の通所、週2回の訪問リハビリをお願いしています。ここまで良くなれたのは、リハビリの望月、網干両療法士様と職員の皆様の温かいご指導の賜物と思っております。深く感謝申し上げます。また、このように回復できた蔭には、家事への取り組みがありました。『今日はこれが出来たから明日は何をしようか・・・』と考えていました。今では、身の回りのことや炊事、洗濯、掃除は一通りできます。辛抱強く支え、励ましてくれる家族に感謝をしつつ、料理を美味しく作るの大きな喜びです。そして、今後は趣味や色々な集まりに出かけ、コミュニケーションを図って気持ちを明るく過したいです。庭を手入れしていた以前の体力が戻るように、チューリップの球根を植えて、今や春を待つ心です。」と感想もご自身でパソコンを使用して文章を作ってくれました。今後もM様のご希望を叶えられるように関わらせていただきたいと思います。



『通所リハビリイベント～秋の運動会～』

スポーツの秋にちなみ、10月29、30日に秋の運動会を開催しました。玉入れ、輪投げ、タオル引きといった種目を紅白対抗戦で行いました。チームメイトの声援を受けながら両チームとも一致団結し、生き生きと体を動かしてくれました。利用者様の真剣に取り組む姿勢や童心に戻れたような笑顔に、職員も一緒に楽しく過ごすことが出来ました。多数の利用者様にはご参加ご協力を頂きありがとうございました。今後も利用者様とスタッフが一緒に楽しめる企画を行っていききたいと思います。（通所リハビリテーション室スタッフ一同）

